

ページ2

Basic Information / 基本情報

Duration / 開催期間

説明: ~年~月 から ~年~月まで

**2015年4月~2015年7月**

Staff / スタッフ

説明: 青年会議所メンバーの参加人数

例: 何人 ○○member

**17MEMBERS**

Sponsors / 支援者

説明: 青年会議所以外のメンバーがいる場合のみ記載してください

例: ○○市ボランティア団体等

**金沢大学、北陸大学、星陵大学、金沢工業大学、北陸学院大学、金沢美術工芸大学、北陸先端大学、金城大学。**

Budget 予算

説明: ドルで表示してください。

例: 1万円なら one hundred dollar

**50万円**

Profit / Loss 利益/損失

説明: 基金を集めること以外は、0にしてください

**0**

In Which UN MDG best fit (if Apply)? UN MDGs の該当項目 (もしあれば)

説明:

Who is benefited? 誰の為に?

説明: 活動エリアに住み暮らす人々 人

**金沢市及び金沢市近郊に在住する日本人学生と外国人留学生**

Objective 目的

説明: (例 1) 子ども対象の事業をベースにして、参加者とメンバーの

意識を変革を促し、前向きな変化を創りだすため

日本人学生は日本人としてのアイデンティティーを持ち、外国人留学生には、異文化の理解を深め、さらに双方ともに、積極性、協調性、コミュニケーション能力に長けたグローバル人材を育成するため

Overview 概要

説明：必ず結果と合致しているはず

●学生面接： 4月25日（土）13:00～17:00

かなざわ国際みらい塾の趣旨と全体スケジュールを説明し、趣旨に賛同しスケジュール的に参加可能な学生を選抜しました。また、語学能力・出身校・リーダーシップ・意欲等を確認し、みらい塾生の適正なバランスを保ちました。

●第1回みらい塾： 5月10日（日）15:00～19:00

お互いの存在を知つてもらうために、最初の顔合わせで参加学生の距離感を近づけるプログラムを行い、考え方の違いを受け入れる力を身につけていただきます。

① オリエンテーション（自己紹介）

みらい塾を開催する意義とプログラム内容を参加者に伝えました。

参加者の名簿を配布し、参照しながら、自己紹介を行いました。

緊張感をほぐすため、最初に委員会メンバーの自己紹介を行いました。

② 貿易ゲーム

貿易ゲームを行う中で、初顔合わせの参加学生の距離を近づけました。

また、考え方の違いを受け入れる力を身につけていただきました。

③ 前年度みらい塾生による事業体験談

前年度の事業体験談を話してもらい、次回以降のみらい塾への関心を高めてもらいました。

研修の最後に塾生に対して検証アンケートを行いました。

●第2回みらい塾： 5月16日（土）13:00～22:00

日本人学生には自国の理解を深め日本人としてのアイデンティティーを持ってもらい、外国人留学生には異国の文化を理解してもらうために、金沢の文化を体験する機会をつくり、大切に受け継いできた日本人としての精神性を学んでいただきました。

① フィールドワーク

グループに分かれて、フィールドワークを行います。

② ショートプレゼンテーション

フィールドワークで体験したことをテーマにもとづいてグループディスカッションし、発表をしてもらいました。

テーマは、「日本人学生から見た金沢・外国人留学生から見た金沢」

コメントの追加 [B1]: 箇条書にしたほうが翻訳しやすい。

コメントの追加 [B2]: 2つに分ける。

それぞれの金沢の感じ方を話し合い発表し、感受性・価値観の違いを理解し合うことを目的としました。

### ③ 塾編成とテーマの発表

第4回みらい塾の発表会に向けた塾編成と、テーマを発表しました。

テーマは金沢のツアーチャーを企画してもらいました。

ツアーガイドブックとPVを作成してもらいました。

各塾で、課題に取り組んでもらう過程において、協調性、コミュニケーション能力を高めました。

研修の最後に塾生に対して検証アンケートを行いました。

#### ●第3回みらい塾： 5月30日（土）13:00～17:00

積極性、協調性を持った人材となるために、グループに分かれて企画を実施し、リーダーシップやフォロワーシップを学んでいただきました。

##### ① 各塾の進捗状況の報告

各塾の途中経過を報告しました。

各塾の進捗状況を聞くことで、塾生のモチベーションをあげました。

##### ② グループディスカッション

グループごとに、留学生から見た観光地金沢の問題提起をしてもらい、グループごとにその解決方法をみつけてもらいました。

このグループディスカッションで得た解決方法は、JCI世界会議金沢大会に反映させました。

##### ③ JCI世界会議金沢大会PR

みらい塾生にJCI世界会議金沢大会の事を知ってもらい、参加への意欲を促進しました。

研修の最後に塾生に対して検証アンケートを行いました。

#### ●第4回みらい塾： 6月20日（土）13:00～19:00

みらい塾の成果を学生自らが発表する機会を設け、国籍、言語の違いを乗り越えて、自分の考えを相手にわかりやすく伝えられるようになっていただきました。

##### ① 発表会

発表方法は、ツアーガイドブックとPVを用いたプレゼンテーションとしました。作成したツアーガイドブックは、JCI世界会議金沢大会で活用しました。審査員は、行政関係者（8名）、高等教育機関関係者（20名）、青年会議所メンバーにしていただきました。

##### ② フィナーレ

みらい塾に参加した達成感を実感してもらうことと、みらい塾卒業生として経験したことや学んだことを後輩たちに伝える責任感を感じてもらうために修了

証書を授与しました。

・修了証書授与式（1人1人に授与し、感想を発表してもらいました）

研修の最後に塾生に対して検証アンケートを行いました。

●事業報告会： 7月16日（木） 7月例会

かなざわ国際みらい塾の事業内容について映像を用いて報告しました。

例会後にJCIメンバーに対して検証アンケートを行いました。

●JCI世界会議金沢大会でのみらい塾生について

参加者：JCI世界会議金沢大会参加者25名（内ボランティアリーダー8名）

活動内容：ボランティアリーダーは各ファンクションのミーティングに参加し

内容を把握し、JCI世界会議金沢大会開催中にはボランティアスタッフのま

とめ役となりました。またそれ以外のみらい塾生もボランティアスタッフを牽

引する役割を担いました。

ボランティアリーダーの活動内容

8月上旬ボランティアリーダー決定

8月中旬から10月下旬JCI世界会議金沢大会ボランティアへの参加推進

8月29日（土）、9月5日（土）、9月12日（土）、10月3日（土）、

10月17日（土）の説明会参加

10月3日（土）各ファンクション担当者とミーティング

10月11日（日）エクスカーション部会とミーティング

10月17日（土）ボランティアリーダーミーティング

10月27日（火）最終説明会参加

Result 結果

説明：複数の短い文章になるように注意してください

目的がどのくらい達成できたか書いてください

上記の結果の想定外の結果を書いてください

上記の結果の確認方法を書いてください

検証結果を簡潔に書いてください

【総括】

＜対外事業目的達成について＞

50名の目標に対し69名の参加者という結果になりました。また13カ国の留学生が参加してくれて非常に多国籍のみらい塾を行うことができました。第1回みらい塾では貿易ゲームを行い積極的なコミュニケーションをはかることができました。第2回みらい塾ではフィールドワークを行い日本人としてのアイデンティティーを学び、外国人留学生には、異文化の理解を深めてもらうこ

とができました。またグループワークを行うことで積極性や協調性、リーダーシップやフォローリーを学ぶことができました。

#### Actions Taken 行動

説明 :

- 学生面接 : 4月25日 (土) 13:00~17:00
- 第1回みらい塾 : 5月10日 (日) 15:00~19:00
- 第2回みらい塾 : 5月16日 (土) 13:00~22:00
- 第3回みらい塾 : 5月30日 (土) 13:00~17:00
- 第4回みらい塾 : 6月20日 (土) 13:00~19:00
- 事業報告会 : 7月16日 (木) 7月例会

#### ボランティアリーダーの活動内容

##### 8月上旬ボランティアリーダー決定

8月中旬から10月下旬JCI世界会議金沢大会ボランティアへの参加推進

8月29日 (土) 、9月5日 (土) 、9月12日 (土) 、10月3日 (土) 、  
10月17日 (土) の説明会参加

10月3日 (土) 各ファンクション担当者とミーティング

10月11日 (日) エクスカーション部会とミーティング

10月17日 (土) ボランティアリーダーミーティング

10月27日 (火) 最終説明会参加

#### Recommendations 考察や推奨

目的のうちどの部分が達成されたのか?

達成できなかった部分は、何か?

それは、なぜか? その改善策は?

- 学生面接 : 4月25日 (土) 13:00~17:00

かなざわ国際みらい塾の趣旨と全体スケジュールを説明し、趣旨に賛同しスケジュール的に参加可能な学生を選抜します。また、語学能力・出身校・リーダーシップ・意欲等を確認し、みらい塾生の適正なバランスを保ちます。

#### <効果>

事前に語学能力や意欲の確認ができグループ分けする際の参考になりました。

#### <良かった点>

語学能力や意欲の確認ができたこと、また写真やニックネームなどを面接の段階で準備できたので第1回みらい塾には顔と名前を覚えてスタートすることができました。

#### <悪かった点>

コメントの追加 [B3]: 目的との関係で結果を記載してはどうでしょうか。

具体的な活動については、例えば、結果に対する根拠として記載したほうがより伝わる気がします。

例えば・・・

①日本人学生は日本人としてのアイデンティティーを持つことができました。

（根拠）3カ国にも及ぶ留学生が参加しました。フィールドワークとディスカッションを通して、外国人の考えた触れることで、日本人固有の思考を意識しました。とか。

思いつきで書いています。もっと、良い表現はありますで、検討して下さい。

事前に参加できる日程を確認しましたが、当初の参加予定から欠席する学生が何名かいました。事前の準備に支障がでるため確実に参加してもらえる日程確認が必要です。

●第1回みらい塾： 5月10日（日）15：00～19：00

お互いの存在を知つてもらうために、最初の顔合わせで参加学生の距離感を近づけるプログラムを行い、考え方の違いを受け入れる力を身につけていただきます。

＜検証＞

第1回みらい塾には60名の学生が参加しました。オリエンテーションでは顔写真入りの名簿を配布しましたので顔と名前を早く覚えることができました。また貿易ゲームを行い積極的なコミュニケーションをはかることができました。非常に多くの学生が積極的に交流できたと答えています。

●第2回みらい塾： 5月16日（土）13：00～22：00

日本人学生には自国の理解を深め日本人としてのアイデンティティーを持ってもらい、外国人留学生には異国の文化を理解してもらうために、金沢の文化を体験する機会をつくり、大切に受け継いできた日本人としての精神性を学んでいただきます。

＜検証＞

第2回みらい塾には59名の学生が参加しました。フィールドワークを行い日本人としてのアイデンティティーを学び、外国人留学生には、異文化の理解を深めてもらうことができました。多くの学生が新たな金沢を発見したと答えています。またディスカッションではほとんどの学生が積極的に自分の意見を言えたと答えています。

●第3回みらい塾： 5月30日（土）13：00～17：00

積極性、協調性を持った人材となるために、グループに分かれて企画を実施し、リーダーシップやフォローリーダーシップを学んでいただきます。

＜検証＞

第3回みらい塾には38名の学生が参加しました。各塾の進捗状況の報告を行うことで競争力が発生し各グループのモチベーションが高まりました。グループディスカッションでは多くの学生が自分の意見を伝えることができたと答えています。またJCI世界会議金沢大会についてのPRを行った結果25名（内ボランティアリーダー8名）のみらい塾生がJCI世界会議金沢大会のボランティアスタッフとして参加してくれました。

### ●第4回みらい塾： 6月20日（土）13：00～19：00

みらい塾の成果を学生自らが発表する機会を設け、国籍、言語の違いを乗り越えて、自分の考えを相手にわかりやすく伝えられるようになっていただきます。

#### ＜検証＞

第4回みらい塾には42名の学生が参加しました。発表会ではそれぞれのグループが個性をいかした発表をおこないました。多くの学生がみらい塾を通して考え方や行動に成長を感じたと答えています。また修了証書を手にした多くの学生がみらい塾に参加して満足感を感じたと答えています。作成したみらい塾冊子はJCI世界会議金沢大会のインフォメーションブースにて配布しました。

#### ＜発表会について＞

本年度はみらい塾の最後に発表会を行いました。自分たちで体験したことをディスカッションし意見をまとめ人に伝えることで成長がみえました。

### ●事業報告会： 7月16日（木） 7月例会

かなざわ国際みらい塾の事業内容について映像を用いて報告しました。

例会後にJCIメンバーに対して検証アンケートを行いました。

#### ＜検証＞

事業報告会に参加したメンバーのほとんどがグローバル人材の必要性を感じると言えています。

### ●JCI世界会議金沢大会でのみらい塾生について

参加者：JCI世界会議金沢大会参加者25名（内ボランティアリーダー8名）

活動内容：ボランティアリーダーは各ファンクションのミーティングに参加し内容を把握し、JCI世界会議金沢大会開催中にはボランティアスタッフのまとめ役となりました。またそれ以外のみらい塾生もボランティアスタッフを牽引する役割を担いました。

#### ボランティアリーダーの活動内容

8月上旬ボランティアリーダー決定

8月中旬から10月下旬JCI世界会議金沢大会ボランティアへの参加推進

8月29日（土）、9月5日（土）、9月12日（土）、10月3日（土）、

10月17日（土）の説明会参加

10月3日（土）各ファンクション担当者とミーティング

10月11日（日）エクスカーション部会とミーティング

10月17日（土）ボランティアリーダーミーティング

10月27日（火）最終説明会参加

みらい塾生の意見：

- ①みらい塾でフィールドワークを行っていたのでデリゲイツに金沢の良さを伝えることができました。
- ②海外の人と会話することで、さらに語学レベルを高めようと思いました。
- ③みらい塾で学んだリーダーシップトレーニングの経験がいきて、うまくボランティアスタッフをまとめることができました。
- ④普段関わらない人とたくさん交流ができ、また自分もこのような人になりたいという目標ができました。
- ⑤JCI世界会議金沢大会のボランティアリーダーを務めたことで自分の自信にもなったし、さらに自分を高めたいと思いました。
- ⑥ボランティアリーダーとして運営側の経験を積むことができました。

＜総括＞

多くのみらい塾生がJCI世界会議金沢大会にボランティアリーダーやボランティアスタッフとして参加してくれました。みらい塾で学んだ経験を活かしてボランティアリーダーとして多くのボランティアスタッフをまとめてくれました。またみらい塾生が中心となりボランティアスタッフの士気を高め、JCI世界会議金沢大会の円滑な運営の一翼を担ってくれました。さらにボランティアスタッフの活躍により対内メンバーにグローバル人材の必要性に対する認識を高めてもらいました。

コメントの追加 [B4]: 第〇回ごとという書き方ではなくて、目的との関係で書いてもいいかもしれない。

Best Local empowerment program

ページ3

Objectives Planning Finance and Execution

目的・計画・財務・実施

What were the objectives of this program

このプログラムの目的は？基本情報に詳述して下さい ※200語まで

日本人学生は日本人としてのアイデンティティーを持ち、外国人留学生には、異文化の理解を深め、さらに双方ともに、積極性、協調性、コミュニケーション能力に長けたグローバル人材を育成するため

How does this program align to the JCI Plan of Action

この事業は、どのように J C I の活動計画と合っていますか？

活動計画のどの部分に合致しているのか？合致している部分の詳述してください。  
※ JCI Action plan のシートを参照 ※ 200 語まで

日本人学生は日本人としてのアイデンティティーを持ち、外国人留学生には、異文化の理解を深め、さらに双方ともに、積極性、協調性、コミュニケーション能力に長けたグローバル人材を育成することで地域社会が持続可能なインパクトを達成することを可能にする。

Was the budget an effective guide for the financial management of the project?

予算は事業の財務管理のための効果的なガイドになりましたか？

予算上の工夫と、予算の内訳の概算を記述してください ※ 150 語まで

日本人学生は日本人としてのアイデンティティーを持ち、外国人留学生には、異文化の理解を深めるためには、フィールドワークにて金沢の工芸文化に触れあうことが必要。フィールドワーク費用に 70% の費用を充てた。

How does this project advance the JCI Mission and Vision?

どうやってこの事業は、J C I のミッションと、ヴィジョンを推進しましたか？

※ ビジョンとミッションに分けて明確に詳述してください

※200語まで

**JCIミッションの推進。**

日本人学生は日本人としてのアイデンティティーを持ち、外国人留学生には、異文化の理解を深め、さらに双方ともに、積極性、協調性、コミュニケーション能力を高める為、発展・成長の機会を与える。

**JCIビジョンの推進**

グローバル人材を育成することで、若き能動的市民の主導的なグローバルネットワークに繋がる。

※写真4枚

ページ4

Membership Participation メンバーの参加

By number, how many members were involved in this program?

事業のスタッフは、何人？数字で記載してください ※2語まで

**17名**

By percentage how many members of the Local Organization were involved in this program?

LOMメンバーの参加率は、何パーセントですか？ ※1語

**80%**

Describe the main roles of the participating members in this program  
このプログラムで参加しているメンバーの主要な役割を簡潔に記述してください ※300語まで

**進行**

**フィールドワークナビゲーター**

**相談受付**

コメントの追加 [B5]: 加筆が必要ですね！

※写真4枚

ページ5

### Community Impact 社会への影響

How did the Local Organization measure community impact for this program  
どのように、LOMは、このプログラムのために地域社会への影響を測りましたか？※200語まで

アンケートにて

コメントの追加 [B6]: 目的①については、アンケートで、  
目的②については、人数で  
等色々書けそうですね！

Describe the actual community impact produced by this project

このプロジェクトによって発生される実際の地域社会への影響を記述してください  
※300語まで

日本人学生は日本人としてのアイデンティティーを持ち、外国人留学生には、異文化の理解を深め、さらに双方ともに、積極性、協調性、コミュニケーション能力に長けたグローバル人材を育成することで、

コメントの追加 [B7]: 影響と根拠に分けて記載して下さい。

ページ6

### Impact on Local Organization LOMへの影響

How did the Local Organization benefit from running this project?

どのようにLOMは、この事業を運営することから利益を得たか？

※200語まで

多くのみらい塾生がJCI世界会議金沢大会にボランティアリーダーやボランティアスタッフとして参加してくれました。みらい塾で学んだ経験を活かしてボランティアリーダーとして多くのボランティアスタッフをまとめてくれました。またみらい塾生が中心となりボランティアスタッフの士気を高め、JCI世界会議金沢大会の円滑な運営の一翼を担ってくれました。さらにボランティアスタッフの活躍により対内メンバーにグローバル人材の必要性に対する認識を高めてもらいました。

How did the program advance the JCI Mission?

どのようにJCIミッションを推進したのか? ※200語まで

日本人学生は日本人としてのアイデンティティを持ち、外国人留学生には、異文化の理解を深め、さらに双方ともに、積極性、協調性、コミュニケーション能力を高める為、発展・成長の機会を与える。

コメントの追加 [B8]: 肉付けできるとよい

How did the project advance the JCI Vision?

どのようにしてJCIビジョンを推進したのか? ※200語まで

グローバル人材を育成することで、若き能動的市民の主導的なグローバルネットワークに繋がる。

コメントの追加 [B9]: 肉付けできるとよい。

※写真4枚

ページ7

Long-term Impact of the Program プログラムの長期的な影響

What is the expected long-term impact of this project?

このプロジェクトの期待される長期的な影響は、なんですか?

※200語まで

日本人学生は日本人としてのアイデンティティを持ち、外国人留学生には、異文化の理解を深め、さらに双方ともに、積極性、協調性、コミュニケーション能力に長けたグローバル人材を育成することで地域社会が持続可能なインパクトを達成することを可能にする。

コメントの追加 [B10]: ここは少し検討が必要。長期的  
という視点で書いて下さい。

What changes Would you make to improve the results of this project?

このプロジェクトの結果を改善するために、どんな改善策がありますか?

※300語まで

**<実施期間について>**

本年度は5月から6月にかけての2ヶ月間で計4回のみらい塾を開催しました。また7月に事業報告会を行いました。夏休み前に完結したことで高い参加率を維持できました。また期間が凝縮されたことで顔を合わせる間隔が短くなりコミュニケーションが早くとれました。ただし7月に開催した事業報告会ではテスト期間前ということで学生の参加が少なくなりました。本年度は11月にJCI世界会議金沢大会が開催されたため夏休み明けにみらい塾を開催することができませんでしたが、通常年度であれば夏休み明けにも第2期みらい塾を開催すると良いと思います。

※写真4枚

**コメントの追加 [B11]:** 端的に問題点を指摘すればよいのでは？